推　　　薦　　　書

下記のとおり、動物資源共同利用研究センター教授の候補者を推薦します。

記

１　被推薦者氏名及び現職

被推薦者氏名

被推薦者現職

２　推薦理由（記入欄が足りない場合は、適宜、用紙を添付してください。）

令和　　年　　月　　日

推薦者職・氏名　　　　　　　　　　　　　　　印

自然科学研究機構動物資源共同利用研究センター

教授候補者　略歴書

令和　　年　　月　　日　現在

顔写真を貼付

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな  氏　　　　名  （旧 氏 名） | |  |
| 生年月日 | | 年　　月　　日（　　歳） |
| 学  位 | 種　　類 | （　　　　年　　月） |
| 授与機関 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 修学期間 | 学　　　歴　　　事　　　項 |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 在職期間 | 職　　　歴　　　事　　　項 |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 従事期間 | 職歴以外の研究又は教育歴事項 |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 従事期間 | 学会及び動物実験施設協議会等での活動（役職など） |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |
| 年　　月～　　 年　　月 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 現在の所属先 | |  |
| 所属先の住所 | | 〒 |
| 所属の連絡先番号 | 電話番号 |  |
| Ｆ Ａ Ｘ |  |
| e – mail |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 自宅の現住所 | | 〒 |
| 自宅の連絡先番号 | 電話番号 |  |
| Ｆ Ａ Ｘ |  |
| e - mail |  |

|  |
| --- |
| その他の事項（賞罰など。獣医師免許等を有する場合は獣医師名簿登録番号、取得年月を記載） |

　別　紙 １

〔業績目録の様式〕

１　Ａ４版用紙を用い、Ａ）原著論文、Ｂ）総説及び著書の順で記載してください。

２　個々の論文、著書については、記入例を参考に、掲載または出版を許可されたもののみを発表順に番号を付けて記載してください。著者は全員記載してください。

〔記 入 例〕

Ａ）原著論文

　１．Neher E & Sakmann B. Single-channel currents recorded from membrane of denervatedfrog muscle fibers. Nature 260: 779-802 (1976)

Ｂ）総説及び著書

　１．日本太郎. 聴覚の生理的基礎　勝木編　感覚の生理学 P.51-70 岡崎書院（1990）

　別　紙 ２

〔その他参考資料の様式〕

○　Ａ４版用紙を用い、①国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演、②国際共同研究の実績、③競争的資金からの研究費の獲得状況(最近の５～１０年)、④特許出願・取得状況、⑤動物実験施設における管理運営の実績、⑥動物実験委員会での活動実績、⑦実験動物と動物実験に関する教育・指導の実績、⑧その他の順で記載してください。

〔記 入 例〕

①国際学会及び国際シンポジウムへの招待講演

１． 生理太郎　(2000, 3) Cortical dynamics and neural mechanisms of object recognition.

The 26th SEIRIKEN International Symposium, Neural Mechanisms of Visual Perception and Cognition, Okazaki, Japan (invited speaker)

②国際共同研究の実績

１． Human Frontier Science Grant, Research Grant RG-77/95.

研究テーマ：Visual pattern recognition by primate neuronal networks.

共同研究者：生理太郎, Darwin C, Yang J (代表者がある場合は下線を引いて下さい）

研究期間：1995, 6 – 1998, 5

③競争的資金からの研究費の獲得状況

１． 戦略的基礎研究推進事業（科学技術振興事業団）

研究テーマ：体性感覚における視床ー大脳皮質機能連関　(研究代表者)

期間：1996, 4 - 2000, 3

研究費総額：230,000,000円

④特許出願・取得リスト

１． 生理太郎, 薬理次郎. 名称「腎疾患治療剤のスクリーニング法」

出願番号　2003-999999x

国際出願番号　PCT/JP02/99999x（国際公開番号 WO-2003/9999999x）

出願人　大和大学

出願日　2001年1月1日

⑤動物実験施設における管理運営の実績

1. 2010-2020年　生理学大学動物実験センター専任教員（准教授）として管理運営を担当

⑥動物実験委員会での活動実績

１．2010-2020年　生理学大学動物実験委員会委員

⑦実験動物と動物実験に関する教育・指導の実績

１．2010-2020年　生理学大学獣医学部において教職員・学生を対象に実験動物と動物実験に関する教育を担当。